

柏崎体育

発行所 柏崎体育団

編集者 近藤康信

印刷所 (株)柏崎インサツ



ぎおん柏崎祭りに

復活参加

(仁和賀)



ぎおんまつりに 参加して



副団長
曾田 恒

いきいき元気のスローガンのもとで、体育団はスポーツ振興のために多くの事業をやってきましたが、この度新しい試みとして、柏崎ぎおん祭りに参加しました。今年は初回に比べて参加者も多くスムーズに行われました。当日は祭の会場の変更があつたり、時間的に無理があり早く引き上げたことが残念でしたが、はつらつとした子供達の姿が印象的でした。体育団の高張り提灯を支え、演舞をみなが観客との交流は、体育団の存在をPRすることにもなり楽しいひとときでした。



柔道連盟 / 会長 小林久幸

一年ぶり三回目の参加となりました。柏崎の柔道は小学生と高校生が中心。主力の柏崎工業高校の柔道部員もこれをやらないと夏休みには入れないようだ。

はじめは恥ずかしがついた選手たちが、次々に得意技を披露。そこにはO.B.の姿も。市内唯一の女子の現役初段が元主将である兄を投げる。注目される中、力一杯に技をかける。大歓声があがる。気分爽快の様子である。



サッカー協会 / 三井田篤

ぼくはサッカーの代表として体育団の山車に参加しました。いろいろなスポーツの方が参加していく、近くで見ることが初めてのスポーツもありました。

緊張して山車の上ではボールが外に出てしまうことがあり、とてもむずかしかったです。まだまだ練習が必要だと思いました。

でも、いろいろなスポーツが見れたり、パレードでほかの地区的山車が見れたりしたのでとても楽しかったです。

大人、子供を含め約二千名が今年の「たる仁和賀」に参加しました。ちょうど、スポーツ少年団の地区大会が終って間もないということもあり、小中学生を中心に演武を組んでみました。台車の上に乗り、普段の練習と同じよう突き、蹴りをする子供達は、廻りの大勢の人垣に動搖することなく、楽しみながら自分達の演武を発表することが出来たようです。今年の彼等の夏休み帳の一ページには、「たる仁和賀」での思い出が、大きく記載されたことと思います。

「お祭りは見るより参加する方がいい、来年もお祭りに出てたい」と楽しそうに話していました。



ぎ お ん 祭 り に 参 加 し て !

少林寺拳法協会 / 理事長 牧野輝男

「わっしょい、わっしょい」のかけ声の中に「ナイスショート、ドンマイ」と、お祭りでは聞けれない子供達の声が響きました。北鰐石と剣野ミニバスケットの子供達が体育団の一員となつて参加しました。

見物の人達や、他の団体の人からも、いろいろ声をかけられたり、友達とそれ違つて手を振ったり楽しそうに日頃の練習とは違う汗を流していました。

「お祭りは見るより参加する方がいい、来年もお祭りに出てたい」と楽しそうに話していました。



バスケットボール協会 / 今井直樹

専門部報告と予定

総務部

体育団総務部の一番大きな仕事として機関紙である『柏崎体育』の発行が上げられる、今まででは体育関係者や団体及び賛助会員の方々の手に渡っていただけの状態でした。一般市民への広報態勢としては非常に非力であります。不十分な状況です。発行部数についても予算の関係があり大きな変更はできない状態になります。今年度の方針として現在事務局と協議中の方法が各地区にあるコミュニティーセンターに置いてもらい、来館者に読んでもらうようにできないかと考えています。体育団とは別の組織になりますので相談を進めた結果になります。加盟団体の紹介記事も各団体の協力により順次掲載することができます。

これからも続けていく予定ですのでご協力を願います。また載せてほしいニュース等があれば各加盟団体の広報にもお使い頂きます。

以上この二つの事業を推進することでお待ちしていきます。

財務部

財務部は、村山副団長以下二名の理事が所属し、活動しております。

一、賛助会費について

昨年度は、賛助会員数一七五、同納入額は二三〇万余円で長引く不況による企業会員の減少及び会員の減額となりましたため、現行の企業会員の維持と増加に努力をめぐることで、企業会員の新規開拓については、現在の財務部員と団長、副団長による体制で、現状会員を訪問するのが精一杯であります。本年度より常任理事以上による人海戦術で対応して行くことを確認し、新規会員をお願いする企業は、花火のご寄附者を追加し、体制作りをしていました。個人会員制度の導入については、今後検討をお願いします。

七月二十五日は午後三時に関係者は集合し準備を開始した。

柔道連盟、綱引連盟、少林寺拳法協会、バスケットボール協会、サッカー協会の出演と弓道連盟の試合スタイルでの参加をはじめ多くの加盟団体の協力を得て、「意気・活気・挑戦・強き柏崎の再来」をテーマに体育団の仁和賀は無事スタートし、午後九時過ぎに事故も無く参加した意義を感じ散会した。

協賛金に協力下さった加盟団体、企業、役員、理事等の皆様、出演くださった団体、山車の製作、運搬をはじめ当日の細かい裏方作業をやって下さった体育施設管理公社職員、事務局の体育課職員の方々に厚くお礼申しあげます。ありがとうございます。

(五)優秀体育人表彰式を来年二月五日(土)。第四十七回北陸

十五日から三日間百九十一チ

普及振興部

普及振興部の前期最大事業は、「ぎおん柏崎まつり」仁和賀パレードの参加であった。

春の理事会前に部会を持って振興部としての対応を検討した。理事会で「ぎおん柏崎まつり」参加が決められ準備にはいった。

部会を数回、専門部連絡会議、出演加盟団体を含んだ合同会議等の打合せや山車の器材運搬、組立て、協賛金のご協力など多くの方々の力をいただき当日を迎えた。

生・高校生を対象に前年度の成績を集約し、配分基準を参考にして、陸上競技、卓球、水泳、バレーボール、ソフトテニス、野球、空手道の七競技団体に配

選手強化部

本年度は部会を三回開催し、次の項目が決定されました。

(一)選手強化費の配分は、中学

生・高校生を対象に前年度の成績を集約し、配分基準を参考にして、陸上競技、卓球、水泳、業への取り組み

一、市民健康づくり教室委託事務

二、新リズム体操の創作

三、障害者スポーツの研究

四、委託事業①「市民体操教室」

「びのび元気スクール」とネーミング、柏小を会場に六月より毎金曜、四十五名程の参加者に、リズム体操、ダンベル、チューブ体操、ヨーガを実施。九月からは、次年度市民運動会の作品「新三階節」と太極拳をテーマにスタートしたところです。

五、委託事業②「講師派遣事業」

九月、桜木町、南鰐石小P.T

A、十月には鯨波コミュニティ

より派遣要請を頂きました。講師派遣にあたっての事前研修は

部の活動の質を高め、さらには「下駄ばきでいる場所での健

康づくり」という、振興部の夢

への実現に近づきつつある感が

し喜んでおります。

三、障害者スポーツの研修

「ふれあいスポーツフェスタ」に参加、サポートとしての研修の必要性を一同痛感しました。

女性体育振興部は、今、多く

の支援を得て、伸びゆく部として生き生きと輝いております。



が加盟団体で漏れなく納入下さるようお願いし、今後も企業に協力を要請します。

以上この二つの事業を推進することでお待ちしていきます。

女性体育振興部は、今、多く

の支援を得て、伸びゆく部として生き生きと輝いております。

表彰規程の見直しについて

(現 行)

(改 正)

柏崎体育団表彰規程

第1条 本規程は、柏崎地方の体育振興に功績のあった者を表彰する。

第2条 表彰を受ける者は次に定める基準の一つ以上に該当する個人又は団体であって、常に体育の向上発展を目指し日常生活においても社会人の模範であるものでなければならない。

1 功労賞

- (1) 当地方の体育振興と名誉を高揚するうえで大きな貢献をしたもの。
- (2) 学問又は技術研究のうえで大きな功績があったもの。

2 指導者賞

- (1) 常に体育の本質をわきまえ、優秀な競技者の育成に努めたもの。
- (2) 勝れた指導技術により所属団体を永年にわたり優秀な成績をあげさせたもの。

3 オリンピック栄誉賞

オリンピック大会の日本代表に選出されたもの。

4 スポーツ栄誉賞

- (1) 日本代表選手に選出されたもの。
- (2) 健康な記録又は成果をあげたもの。

5 特別優秀競技者賞

継続的な努力により永年にわたり競技人として新潟県のトップレベルにあるもの。

6 優秀競技者賞

- (1) 競技人として全国大会において優秀な成績をあげたもの。
但し、小学生については「競技者」とする。
- (2) ナショナルチームの候補選手に選出されたもの。

7 競技者賞(競技スポーツ部門)

- (1) 県以上の公式大会において優秀な成績をあげたもの。
- (2) 新潟県選抜チームの選手に選ばれ、全国大会に出席したもの。

8 奨励賞(生涯スポーツ部門)

- (1) 県以上の公式大会において優秀な成績をあげたもの。

柏崎体育団表彰規程

第1条 この規程は、柏崎地方の体育振興に功績のあった者を表彰するものである。

第2条 表彰は、次に定める基準の一つ以上に該当する個人又は団体であって、常に体育の向上発展を目指し、社会生活においても模範である者でなければならない。

1 体育功労賞

- (1) 当地方の体育振興と名誉を高揚する上で多大な貢献をした者。
- (2) 学問又は技術研究の上で多大な功績があった者。

2 指導者賞

- (1) 優れた指導実績により、当地方の体育振興に著しい功績があった者。
- (2) 優れた指導技術により、優秀な競技者の育成に努めた者。
- (3) 所属団体を永年にわたり優秀な成績を上げさせた者。

3 スポーツ栄誉賞

- (1) オリンピック、世界選手権等国際競技会の日本代表に選出された者。
- (2) 健康な記録又は成績を収めた者。

4 特別優秀競技者賞

継続的な努力により永年にわたり競技人として新潟県のトップレベルにある者。

5 優秀競技者賞

- (1) 競技人として全国大会に出場し、優秀な成績を収めた者。
- (2) オリンピック、世界選手権等国際競技会の日本代表の候補選手に選出された者。

6 競技者賞(競技スポーツ部門)

- (1) 県以上の公式大会において優秀な成績を収めた者。
- (2) 新潟県選抜チームの選手に選ばれ、全国大会に出席した者。

7 奨励賞(生涯スポーツ部門)

- (1) 県以上の公式大会において優秀な成績を収めた者。

もの。

- (2) 新潟県選抜チームの選手に選ばれ、全国大会に出場したもの。

第3条 柏崎体育団加盟団体及び柏崎体育団事務局は、第2条に該当するものを別に定める様式に従い、指定期日までに柏崎体育団長あて内申するものとする。

第4条 柏崎体育団委員会は内申されたものについて精査検討して表彰を受けるものを選定する。

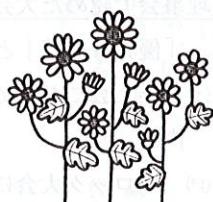
第5条 表彰式に必要な事項はその年度ごとに定める。

第6条 この規程は柏崎体育団委員会において必要に応じて改廃する。

第7条 この規程を運用するに必要な細則は別に定める。

附 則

- 1 この規定は、昭和38年1月1日から施行する。
- 2 昭和29年1月1日施行の体育功労者表彰規定及び優秀競技者表彰規定は廃止する。
- 3 この規定は、公布の日から施行し、昭和52年1月1日から適用する。
- 4 この規定は、昭和52年12月18日から適用する。
- 5 この規定は、昭和63年12月15日から適用する。
- 6 この規定は、平成4年11月12日から適用する。



(現 行)

柏崎体育団表彰規程細則

第1条 規程第2条第1号、第2号及び第5号の該当者は同一人が同一の賞を受けるべきものではない。

第2条 規程第2条第3号オリンピック栄誉賞の該当者は、当地方出身者であること。

第3条 規程第2条第4号スポーツ栄誉賞の該当者は当地方出身者であって(1)に示す「日本代表選手に選出されたもの」とは、世界選手権大会、アジア選手権大会、ユニバーシアードの日本代表選手をいう。(2)に示す「偉大

(2) 新潟県選抜チームの選手に選ばれ、全国大会に出場した者。

8 前各号の他、加盟団体等において当地方の体育振興に貢献した者に感謝状を贈ることができる。

第3条 本団加盟団体及び本団事務局は、第2条の各号に該当する者を別に定める様式に従い、指定の期日までに本団団長あてに内申するものとする。

第4条 本団が設置する表彰選考会において、内申されたものについて審査検討を行い、表彰該当者を選出し、理事会で決定するものとする。

第5条 表彰に必要な事項はその年度ごとに定めるものとする。

第6条 この規程の改廃は、本団が設置する表彰選考会において、必要に応じ検討を行い理事会で決定するものとする。

第7条 この規程の施行に関し必要な事項は細則で別に定める。

附 則

- 1 この規程は、昭和38年1月1日から施行する。
- 2 昭和29年1月1日施行の体育功労者表彰規程及び優秀競技者表彰規程は廃止する。
- 3 この規程は、公布の日から施行し、昭和52年1月1日から適用する。
- 4 この規程は、昭和52年12月18日から適用する。
- 5 この規程は、昭和63年12月15日から適用する。
- 6 この規程は、平成4年11月12日から施行する。
- 7 この規程は、平成11年4月27日から施行する。

(改 正)

柏崎体育団表彰規程細則

第1条 規程第2条第1号、第2号及び第4号の該当者は同一人に対し、同一の表彰は行わない。

第2条 規程第2条第3号スポーツ栄誉賞の該当者は、当地方出身者であって、同号(1)に示す「日本代表選手に選出された者」とは、オリンピック、世界選手権大会、アジア選手権大会、ユニバーシアードの日本代表選手として選手登録（補欠含む）され、その大会に同行した者をいう。同号(2)に示す「偉大な記録」とは、世界新記録、世界最高記録、日本新記録、日本最高記

な記録」とは、世界新記録、世界最高記録、日本新記録、日本最高記録をいう。

第4条 規程第2条第5号特別優秀競技者賞において「永年にわたり」とは、「10年」とするが「種目によって理事会において検討」の上決定される。

第5条 規程第2条第6号優秀競技者賞において「全国大会において優秀な成績」とは次のものをいう。

1 全国大会とは、国民体育大会、種目別全国大会(中、高校、大学を含む)等をいう。

2 優秀な成績とは

(イ) 個人にあっては入賞したもの又は大会新記録をあげたもの。

(ロ) 団体にあっては上位8チーム以内に含まれるもの以上。

第6条 規程第2条第7号競技者賞、及び、第8号奨励賞について

1 「県大会の公式大会」とは、その年度における種目別体育団体、学校体育連盟、地域体育団体等の主催するブロック大会、県大会及び同規模大会であって理事会の審議を経たもの。

2 「優秀な成績」とは

(イ) 県大会においては、個人・1位、団体・2位まで。

(ロ) ブロック大会においては、個人、団体共・3位まで。

(ハ) (イ)、(ロ)においてその種別の新潟県新記録をあげたもの。

3 県大会以下の大会でも、その種別の新潟県新記録をあげたものについては競技者賞の対象とする。

4 生涯スポーツ部門の表彰は、すべて奨励賞とする。

録をいう。

第3条 規程第2条第4号特別優秀競技者賞において「永年にわたり」とは、10年以上をいう。

第4条 規程第2条第5号優秀競技者賞において「全国大会に出場し、優秀な成績」とは次のことをいう。

1 全国大会とは、国民体育大会、種目別全国大会(中、高校、大学を含む)等をいう。

2 優秀な成績とは

(イ) 個人にあっては、上位8位以内の者又は大会新記録を樹立した者。

(ロ) 団体にあっては、上位8チーム以内。

第5条 規程第2条第5号優秀競技者賞の被表彰者には、小学生は含まれないものとし、該当者は、競技者賞とする。

第6条 規程第2条第6号競技者賞及び、第7号奨励賞については、次のように定める。

1 「県大会の公式大会」とは、種目別競技団体、学校体育連盟等の主催(共催は除く)するブロック大会、県大会及び同規模大会であり、表彰選考会及び理事会で認めた大会とする。

2 「優秀な成績」とは

(イ) 県大会においては、個人は1位、団体は2位以内。

(ロ) ブロック大会においては、個人、団体共に3位以内。

(ハ) (イ)、(ロ)においてその種別の新潟県新記録を樹立した者。

3 県大会以下の大会でも、その種別の新潟県新記録を樹立した者については、競技者賞の対象とする。

4 生涯スポーツ部門の表彰は、全て奨励賞とする。

平成11年度上半期(4月~8月)											
8	7	6	5	4							
25	24	9	4	26	25	17	14	1	29	27	21
体 育 選 手 強 化 部 會 (武 道 館)	議 會 女 性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	館 東 山 大 學 柏 崎 市 財 務 部 會 功 勞 者 表 彰 部 會 (二 新 橋)	女性 體 育 部 會 (新 潟)	普及 振 興 部 會 (武 道 館)	選 手 強 化 部 會 (武 道 館)	員 總 會 (新 潟)	新 潟 縣 體 育 館 總 會 (長 岡)	14	11	10	27
9	4	26	25	17	14	1	29	27	21	8	31
性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)
性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)	性 體 育 部 會 (柏 崎 市)

加盟団体紹介

陸上競技協会

競技場発着の
マラソンコース新設を

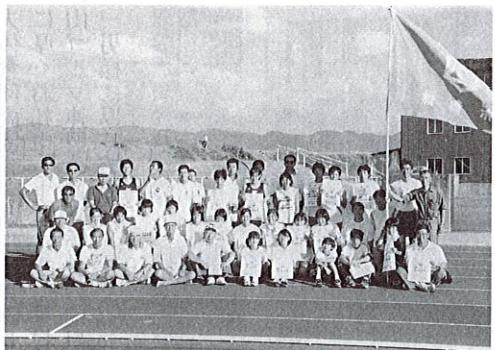
常任幹事
花井憲雄

歴史と伝統のある柏崎の競技場、今は第二種公認の近代的な全天候型施設に生まれ変わりましたが、今まで同様我々のホームグラウンドとして自由に利用させていただければ幸いです。

かつては「陸上王国柏崎」の名をとどろかせていましたが、時代もありましたが、スポーツの普及・多様化、それに伴って各地のスポーツ施設も整備され、「王国柏崎」の影も薄くなりました。

「何とかしなければ」と昭和40年代後半から地域一体となって冬期間の「合同練習会」を開始、更に「選抜強化合宿」、また、底辺拡大のためのジュニア(小学生)育成策として学校週五日制を契機に「ジュニア陸上教室」も実施、これらに学校指導者はもちろん社会人も加わった指導体制で育成に当たってきました。

その効果も着々と現われ、全国少年少女リレー大会での連続入賞、全国中学校大会、全国高



武道館弓道場

会長 大山 弘

柏崎弓道連盟の前身は柏崎弓道俱楽部と称し、初代会長の大山節次郎氏が大正八年に設立、現在に至っています。昭和五十五年三月柏崎市武道館が竣工し、私達の活動はこのすばらしい弓道場を拠点として、展開されてきました。

同年六月一日武道館弓道場開き祝射会を開催、今井市長、柴野市議会議長、山田教育長、月橋体育団長、五十嵐県弓道連盟会長の方々から祝辞をいただき勝や上位入賞、県縦断郡市対抗駅伝の上位入賞等、多少なりとも「王国の復活・維持」ができるとのではと確信しています。

近年の少子化等環境の変化により、スポーツ・部活動の展開が厳しい時代を迎えています。これからは、各団体とも地域が一丸となつた「指導体制の確立」と「ジュニア選手の育成」が課題ではないでしょうか。

最後に、当協会は今、陸上競技場を発着点とするマラソンコースの新設に向け行政とともに精効的に検討しています。競技者のみならず、市民ランナーも出

切に願っています。ぜひご理解ご協力をお願いします。



来ました。

又、柏崎体育団より初代会長の大山氏が体育功労賞、二代目会長の小林繁太郎氏が感謝状、猪浦氏が優秀競技者賞、山田氏

が特別優秀競技者賞と感謝状を授与され他にも多数の皆さんに奨励賞を授与しております。

柏崎弓道連盟では昭和五十五年以来、毎年武道館弓道場で新人を対象に弓道教室を開講しています。若い人では中学生から、年配の人では七十才代の人迄、一人で来る人、親子で来る人、御夫婦で来る人等様々です。現

昭和五十七年七月第一回県内弓道柏崎大会を開催以来、平成十一年で第十八回を数えるに至り毎年盛会に開催出来ます事は喜ばしい限りです。

選手としては牧岡宏幸さんが昭和五十五年に県代表として宮崎国体に、続いて五十八年には猪蒲豊さんが赤城国体に出場、团体的に第三位入賞、山田米

よりますと戦前に二回ほどあったようですが、戦争のため詳細が不明で中断したものと思います。戦後昭和二十一年七月に泉会長のもとで発足、これが当連盟の設立と考えています。

さて、当連盟は、柏崎地域における社会人の軟式野球競技を中心とした団体です。昭和三十九年に開催された第十九回新潟国体において当市が軟式野球を担当したことから、競技面・技術面でも充実したものだと思います。

現在三十三チームが連盟に加盟しており、毎日曜日何らかの大会を行い全国大会出場を目指し競い合っています。

当連盟では、過去に日本石油加工が、昭和六十二年の沖縄国体に出場したことがありますが、その後がつづかず今回久し振りに柏崎市役所が熊本国体に出場



野球連盟

事務局長 杵渕広市

当連盟の発足は、新聞記事に

することができました。この外にもA・B・Cそれぞれのクラスでも優秀な成績を収めています。この学童野球競技の底辺拡大を図るために、連盟の傘下に学童野球連盟を擁し学童(小学生)野球にも力を入れています。この学童野球も毎年県内で優秀な成績を収め、他地域からも注目されております。

前夜二十五日石地カントリーに三十三名全員が宿泊、

代表として全国大会に出場するなど、当連盟は県内でも優秀な成績を収めています。この外にもA・B・Cそれぞれのクラスでも優秀な成績を収めています。この学童野球競技の底辺拡大を図るために、連盟の傘下に学童野球連盟を擁し学童(小学生)野球にも力を入れています。この学童野球も毎年県内で優秀な成績を収め、他地域からも注目されております。



東村山市との交流会

柏崎・刈羽ゴルフ協会事務局長・佐藤秋夫

柏崎・刈羽ゴルフ協会の発足を機に、東村山ゴルフ連盟との交流ゴルフがスタートしました。昨年十二月二十四日には川越カントリーに招かれ、今年七月二十六日(月)は東村山から十三名の選手と当協会から五十名の役員及び会員の参加を頂き柏崎カントリーで盛大に交流ゴルフ大会を開催しました。

二名ずつのペアリングで技を競い乍ら親睦を深めました。終了後のパーティーにも東村山市から教育長、体育協会々長、市スポーツ課長の来賓を迎え、亦、当市から市議会議長、体育団長、教育長も出席され、両市のスポーツ交流にゴルフ仲間入りした

ことを実感しました。

また、中学生野球についても春の野球教室、秋の新人大会の開催など競技力向上のためお手伝いしているところであります。平成十三年には、社会人野球最高の大会であります天皇賜杯の全国大会が新潟県で開催されることになり、当市もその大会々場の一つとなることが決りました。せっかくの機会ですからこの大会に柏崎からもぜひ出場できるチームをと感じこれからも頑張りたいと思います。

今年度の活躍選手

『国際大会』

◎東アジアホープス卓球選手権

山崎 譲治・有坂 美里

柏崎D.J.クラブ男子

少林寺拳法全国大会

伊藤斎・伊丹裕三組

常任理事会・ぎおん柏崎祭り反省会(ニュー新橋)

第19回県スポーツ少年団総合体育大会卓球大会(総合体育館にて)

9・9 第47回北陸バスケットボール選手権大会

15・25 第5回体育団研修会開催(東村山市体育協会との合同)役員研修会(柏崎市にて)

11・10・20・21 第27回北陸バスケットボール選手権大会

『国体出場選手』

◎夏季国体

・ゴルフ競技

三宮 勇雄

・ヨット競技(ワインドサーフィン)

岡田 美香・富沢 仁

・水泳競技

近藤 優・簗内清文

◎秋季国体

・陸上競技

長谷川知恵・佐藤 光介

・柔式野球競技

五十嵐恭子・西須 康也

・ラグビー競技

藤巻 奈緒・南波 佑輔

・空手道競技

梅沢 慶紀

・インターハイ

(陸上競技18・ソフトテニス)

市内4高校から22選手

・全国高校競歩大会

南波 佑輔

・全国ホープス卓球大会

柏崎D.J.クラブ女子

・全国中学校空手道選手権大会

杉田 弓奈

・全国中学総合体育大会

今井 浩貴(陸上)

・全国JOC夏季水球競技

大沢友花莉(卓球)

・卓球日本選手権力デット

有坂 竜馬・阿部 猛

・少林寺拳法スポーツ全国大会

弥重康・塚田亮佑組

『全国大会級出場選手』

・学童野球ルート日本海大会

・新道ニューベアーズ

・卓球ホープス東日本大会

体育団事務局

①教育委員会体育課内

TEL 21-2362

FAX 23-0881

②柏崎市武道館内

(事務担当:宮下真知子)

TEL 24-6741

事業計画

平成11年度下半期(9月~3月)